

平成30年度 学校評価 自己評価書

あま市立篠田小学校

1 総括

(1) 教育目標(学校経営案より)

「あま市教育立市プラン」に基づき、知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指して、「自ら学び、豊かな人間性とたくましく生きぬく力を備えた児童」の育成を図る。

(2) 本年度の重点努力目標

ア 学習指導の充実

- ・ 思いや考えを「伝える力」や「受け止め表現する力」を育成する。
- ・ 「学ぶ楽しさや考える楽しさ」を実感させ、主体的に学ぶ力を育成する。
- ・ 主体的で対話的な学びをすすめる。

イ 豊かな心をはぐくむ活動の充実

- ・ 児童が将来自立し自ら考え行動できることをめざし、その基盤として規範意識や基本的な生活習慣を身につけさせ、時と場に応じた行動がとれるようにする。
- ・ 朝の読書や異年齢集団による活動、総合的な学習や福祉教育・道徳教育等を通して、他者を思いやることのできる豊かな心と社会性を育てる。
- ・ 命を尊び(ウサギの飼育活動)、命を守り(交通安全・防犯・防災)、命をはぐくむ(野菜等の栽培)を通して、自他ともに健康で安全な生活をしようとする意識を育て、高める。
- ・ 特別に支援を要する児童に対しての支援体制の整備とその活用を進める。
- ・ 施設・設備、教育環境の整備・充実を図り、安全で美しい環境づくりに努める。
- ・ ユニバーサルデザインの視点をもった取り組みを進める。
- ・ 見通しをもった生徒指導を心がける。

ウ 家庭・地域との連携の充実

- ・ 教育活動について広く家庭・地域に知らせ、情報の公開に努める。学校ホームページの充実に努める。
- ・ 自己点検や学校評価の実施により、保護者・地域からの意見を聞きながら、信頼され開かれた学校づくりに努める。
- ・ 小中連携・小小連携を積極的に行う。近隣の保育園との連携も進める。

エ 多忙化解消に向けた取組

- ・ 計画的・合理的な学校マネジメントの推進を図る。
- ・ 部活動指導に関わる負担の軽減を段階的に進める。

2 自己評価の実施体制

(1) 調査時期 平成30年11月20日(火)～12月21日(金)

(2) 調査項目 別紙資料「学校評価アンケート項目」参照

(3) 調査対象 有効回答者数/対象者数

| | | |
|-------|------------|------|
| ・ 児童 | 352名/全352名 | 100% |
| ・ 保護者 | 183名/全263名 | 72% |
| ・ 教職員 | 26名/全26名 | 100% |
| 計 | 561名/全641名 | |

3 調査結果 (別紙)

(1) 学校評価アンケート結果

(2) 学校評価児童学年別アンケート結果

4 考察 (別紙)

5 成果と課題 (別紙)

6 改善策 (別紙)